



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社うかい 上場取引所 東  
コード番号 7621 URL <https://www.ukai.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 紺野 俊也

問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 統括本部長 (氏名) 松崎 城康 (TEL) 042(666)3333

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,308	8.1	301	116.8	295	25.0	230	53.6
2023年3月期第1四半期	3,059	49.5	139	—	236	—	149	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	41.10	41.10
2023年3月期第1四半期	26.75	26.75

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,326	4,050	39.2
2023年3月期	11,256	3,900	34.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,049百万円 2023年3月期 3,898百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,257	4.8	606	△20.6	555	△34.9	529	△42.4	94.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	5,606,540株	2023年3月期	5,606,540株
2024年3月期1Q	1,320株	2023年3月期	1,320株
2024年3月期1Q	5,605,220株	2023年3月期1Q	5,605,259株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期貸借対照表関係)	7
(四半期損益計算書関係)	7
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種制限が解消され、社会・経済活動の正常化が進行するなかで緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、世界的な金融引き締め等が続くなか、海外景気の下振れが日本の景気を下押しするリスクや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響にも注意する必要がでてきており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する外食産業においては、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが「5類」に移行したことなどが外食やインバウンドの需要回復を後押しし、人流の回復が一段と進みましたが、慢性的な人手不足に加え、資源の高騰及び物価上昇、人件費の高騰等の懸念事項も生じており、事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社は「食」に関わる企業として日本の食文化の発展に貢献できる企業を目指し、コロナ禍で落ち込んだ業績の回復を着実に進めるとともに、今後の成長力向上に向け、2025年3月期を最終年度とする中期経営方針において掲げている事業基盤の構築のために「人材力の強化」「収益基盤の強化」「財務基盤の強化」の3つの重点経営課題に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、3,308百万円(前年同期比8.1%増)となりました。利益面については、増収効果もあって営業利益は301百万円(前年同期比116.8%増)と大幅増益となり、経常利益及び四半期純利益についても、前年同期に計上していた営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金という一過性の収益減少による影響はあったものの、経常利益は295百万円(前年同期比25.0%増)、四半期純利益は230百万円(前年同期比53.6%増)と増益での着地となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### 〔レストラン事業部〕

新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが「5類」に移行したことで外食やインバウンドの需要回復を後押しし、人流の回復が加速するなか、レストラン事業部では、それぞれのブランド・店舗の特色を活かした販促活動を実施し、来店機会創出に努めてまいりました。

また、前事業年度より最上のおもてなしの追求にも取り組んでおりますが、お客様一組一組、一人一人に対してスタッフと時間を集中させることでこれまで以上の上質な料理ときめ細やかなサービスを提供する、そのような唯一無二のレストランであり続けるという方針のもと、2023年4月より一部店舗で定休日の拡充を図り、週休2日の店舗を大幅に拡大させたほか、コース構成、並びに価格の見直しを実施いたしました。これらの営業活動により、客単価は価格改定効果により上昇し、来客数も前年同期に対して順調に推移しております。

以上の結果、レストラン事業部の売上高は、2,683百万円(前年同期比9.0%増)と増収になりました。

#### 〔物販事業部〕

物販事業部の主力部門である製菓では、商品力を高めてお客様満足度向上を図るとともに、認知度の更なる向上を見据え、全国の百貨店の催事出店や卸販売、EC販売の販促強化等を積極的に行うことで安定した収益確保を図っております。

一方、新たな業態として成長促進を図る食品部門においては、おいしさと鮮度を長期間保つ瞬間冷凍技術を活用して、当社レストランの料理長を歴任するシェフたちがレストランの味をご自宅で簡単に再現できる商品を開発し、2023年6月にグランドオープンしたお取り寄せグルメのオンラインショップ「UKAI GOURMET DELI(うかいグルメデリ)」にて冷凍シリーズとして商品ラインナップを充実させ販売開始しております。今後も、魅力的な新商品を順次展開しながら、「うかい」のグルメとして製菓、とうふ、冷凍商品を組み合わせて催事出店をする等、プロモーション活動を強化することでブランド確立を図り成長させてまいります。

以上の結果、物販事業部の売上高は、374百万円(前年同期比0.7%減)と概ね前年と同水準での着地となりました。

〔文化事業部〕

文化事業部では、『箱根ガラスの森』にて2023年4月から7月まで所蔵作品展「千の花咲くヴェネチアン・グラス～きらめく初夏の庭園～」を開催いたしました。当第1四半期会計期間はこの作品展を柱に様々な企画や季節の進行に合わせクリスタルガラスの展示替えを行い、多くのお客様にご来館いただけるように細やかなプロモーションや旅行会社をはじめとする企業への営業の強化を行いました。

これらの営業施策の効果に加え、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したことで旅行需要の高まりの後押しもあり、個人客とともに団体、インバウンド客の回復が進み、来館者数は前年同期比で大きく伸びました。

以上の結果、文化事業部の売上高は、250百万円（前年同期比13.4%増）と増収になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状態は以下のとおりであります。

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ930百万円減少し、10,326百万円（前事業年度比8.3%減）となりました。主な要因は、現金及び預金が760百万円、売掛金が145百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1,081百万円減少し、6,275百万円（前事業年度比14.7%減）となりました。主な要因は、取引金融機関からの借入金の総額が1,043百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ150百万円増加し、4,050百万円（前事業年度比3.9%増）となりました。主な要因は、配当金の支払いによる減少があったものの、四半期純利益の計上による増加により利益剰余金が146百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績につきましては、2023年5月18日に公表いたしました「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」の数字から変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,289,294	1,528,742
売掛金	725,257	579,584
商品及び製品	170,148	175,453
仕掛品	22,015	25,189
原材料及び貯蔵品	292,921	333,820
その他	158,577	180,124
貸倒引当金	△73	△58
流動資産合計	3,658,143	2,822,857
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,720,606	9,728,323
減価償却累計額	△7,569,089	△7,629,404
建物(純額)	2,151,517	2,098,918
土地	2,187,591	2,187,591
建設仮勘定	—	8,836
美術骨董品	1,097,245	1,097,245
その他	4,088,368	4,100,685
減価償却累計額	△3,731,070	△3,747,149
その他(純額)	357,298	353,536
有形固定資産合計	5,793,652	5,746,128
無形固定資産	64,997	72,384
投資その他の資産		
投資有価証券	83,467	92,791
繰延税金資産	570,973	507,236
敷金及び保証金	1,075,750	1,076,125
その他	9,466	8,741
投資その他の資産合計	1,739,657	1,684,894
固定資産合計	7,598,308	7,503,407
資産合計	11,256,451	10,326,264

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	320,596	315,034
短期借入金	※1、2 3,495,000	※1、2 1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	180,220	292,270
未払法人税等	16,929	4,294
賞与引当金	112,228	27,333
その他	1,343,095	1,398,412
流動負債合計	5,468,069	3,037,344
固定負債		
長期借入金	576,595	1,915,740
退職給付引当金	1,086,385	1,099,938
資産除去債務	215,555	216,285
その他	9,795	5,961
固定負債合計	1,888,330	3,237,925
負債合計	7,356,400	6,275,269
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,871,861	2,871,861
利益剰余金	918,253	1,064,561
自己株式	△2,938	△2,938
株主資本合計	3,887,176	4,033,484
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,640	16,276
評価・換算差額等合計	11,640	16,276
新株予約権	1,234	1,234
純資産合計	3,900,051	4,050,994
負債純資産合計	11,256,451	10,326,264

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,059,715	3,308,155
売上原価	1,385,666	1,436,865
売上総利益	1,674,049	1,871,290
販売費及び一般管理費		
販売促進費	37,888	44,409
役員報酬	33,895	32,745
給料及び手当	575,342	572,935
賞与引当金繰入額	16,534	16,393
退職給付費用	16,630	19,265
福利厚生費	86,403	89,828
水道光熱費	55,451	55,483
消耗品費	54,198	55,754
修繕費	43,280	51,129
衛生費	58,537	61,114
租税公課	43,627	22,979
賃借料	203,191	205,959
減価償却費	72,285	68,535
その他	237,765	273,302
販売費及び一般管理費合計	1,535,032	1,569,836
営業利益	139,017	301,454
営業外収益		
受取利息	1,258	1,255
受取配当金	882	678
助成金収入	※1 106,032	—
その他	4,486	5,369
営業外収益合計	112,659	7,303
営業外費用		
支払利息	11,503	9,768
その他	3,651	3,329
営業外費用合計	15,155	13,097
経常利益	236,521	295,660
特別損失		
固定資産除却損	267	426
特別損失合計	267	426
税引前四半期純利益	236,254	295,233
法人税、住民税及び事業税	63,324	4,294
法人税等調整額	22,967	60,553
法人税等合計	86,291	64,847
四半期純利益	149,962	230,386



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

## ※1. 当座貸越契約

当社は、安定的かつ効率的な資金調達を行うため取引金融機関9行と当座貸越契約を締結しております。  
この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
当座貸越極度額の総額	2,400,000千円	2,400,000千円
借入実行残高	2,175,000千円	1,000,000千円
差引未実行残高	225,000千円	1,400,000千円

## ※2. コミットメントライン契約

当社は、資金の効率的な調達を行うため、取引金融機関4行とコミットメントライン契約を締結しておりましたが、うち3行は2023年4月28日、残り1行は同年6月22日をもって契約満了により当該契約を終了しております。

この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
コミットメント極度額	3,900,000千円	一千円
借入実行額	1,320,000千円	一千円
差引未実行残高	2,580,000千円	一千円

(四半期損益計算書関係)

## ※1. 助成金収入

前第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金106,032千円の特例措置の適用を受けており、助成金収入として計上しております。

当第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン 事業部	物販事業部	文化事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,461,780	377,545	220,389	3,059,715	—	3,059,715
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,461,780	377,545	220,389	3,059,715	—	3,059,715
セグメント利益	291,973	55,581	17,989	365,544	△226,527	139,017

(注)1. セグメント利益の調整額△226,527千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン 事業部	物販事業部	文化事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,683,285	374,842	250,028	3,308,155	—	3,308,155
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,683,285	374,842	250,028	3,308,155	—	3,308,155
セグメント利益	466,228	24,696	30,757	521,682	△220,228	301,454

(注)1. セグメント利益の調整額△220,228千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。